

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児の様子を観察し、気づいたことなど情報交換が活発でつながりのある支援を職員同士が意識して取り組んでいます。	・明るい挨拶、気軽な声掛けなど安心できる雰囲気作りに努めています。 ・利用児の言葉に耳を傾け、気持ちを受け止め認めることを常に意識して対応しています。 ・職員同士での気軽な相談、引継ぎをおこないよりよい療育支援に努めています。	・アセスメントツールや話し合いを用いて、本児の性格や課題の把握を深め、意欲的に取り組めるような支援をおこなっていくとともに、関係機関との連携を図っていきます。
2	・各々の強み活かし、様々な支援を実施しています。また、「楽しい」と利用児が思っていただけのような内容を工夫しています。 ・職員間で支援見学や相談など気軽におこなえる環境を整えています。	・指導員の苦手なことの開示をおこない、利用児と一緒に協力したり、「誰でも失敗することもある」「苦手なこともある」という安心感を与えてたりすることができるようになります。 ・各々の強みを活かし、職員同士で情報交換をおこなっています。	・情報連携、支援内容のバリエーションを増やすなどチームとして療育の質を向上していくために、内部研修や職員間での支援見学などをより活発に実施していきます。
3	・療育室が多く、1人ひとりに十分なスペースを提供し、個別の空間で安心して取り組めるようにしています。	・その日の活動内容によって使用する療育室を相談しあい、安全面にも配慮しながら、落ち着いて過ごすことができるよう配置を工夫しています。	・同室で実施する児が落ち着いて過ごせるような空間の工夫（パーテーションの導入など）や身体にあった机、椅子、道具の提供をおこなっています。 ・準備から片付けまで、利用児がつながりをもって活動できるよう環境設定、収納方法を見直し、工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・特性や関係機関などについての専門的な知識を深めることにより、説得力のある助言を実施することができると思います。	・基礎知識を得る機会や、共通認識をもつ機会が少なかったと感じています。	・職員の経験や資格を活かした対応方法や基礎知識を学ぶ場を設けていきます。また、必要な資料を揃えていきます。
2	・保護者向けイベントや小集団活動を実施する機会が少ないと感じている。	・日程調整や企画立案が積極的にできていなかつたためと考えています。また、保護者や利用児の要望の抽出が十分にできていなかつたと感じています。	・大きなイベントではなく、定期的に小規模での集団活動を計画に取り入れていきたいと思います。また、保護者の不安の軽減や居場所作りとしての企画を考えて実施していきます。
3	・誰が見ても分かりやすい環境の構造化、衛生面の向上。	・危険軽減のための配慮や、わかりやすい教材配置などの構造化ができていなかつたためと考えています。流れのある療育活動につながっていないなかつたと感じています。	・構造化、衛生面などについて指導員間で共有し、1人ひとり意識を持ち、取り組みます。また、限られた環境でよりよい支援ができるよう工夫していきます。

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表						
事業所名		2026年2月14日						
			利用児童数				回収数	11
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	2	個別活動のため、十分足りているという印象です。	今後も活動内容を踏まえ、使用する療育室を考えながら対応していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	2		児童発達支援管理責任者1名、指導員4名、保育士2名が現在在籍。やむを得ない場合を除き、基準以上の職員を配置でいるよう努めています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	1		本年度より、各療育室にフロアマットを設置し、より安全に活動できるようにしました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		・運動を実施する際は、机を移動するなど安全に十分配慮していきます。また、環境設定についても利用児の様子をみて改善をおこなっていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	9	1	0	1	私達保護者側に専門性がないので、現活動がわが子の特性にどこまで適切なのか判断が難しいが、子供の今日があることを汲み取って支援に取り入れてくださっている。	職員間での話し合いや保護者との連携を今まで以上に密にし、利用児1人ひとりの様子を把握しながら支援をおこなっていきます。また、保護者の方がわかりやすい説明に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1	0	1	わが子への理解と分析の上で支援計画を作成いただいていると思うが、面談ないしアンケートに対するフィードバックの機会を設けられていないため、私達保護者側の理解が足りず、適切な支援計画であるかの判断が難しい。	保護者の方と面談や申し送り、職員の気づきなど、利用児の様子から課題をみつけ、支援計画を作成していきます。また、作成後の説明もわかりやすく、より丁寧に伝えることができるよう努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	1	質問の意図をおおまかに察することはできるが、用語の理解が足りず判断が難しい。	専門用語など使用せず、誰にでも伝わるような説明をおこなっています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1		安定した支援を提供できるよう、内部研修などを通じて技術向上などに努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	1	通所の頻度が低く、通所歴もまだ浅いため、工夫を感じる機会自体は少ないと思われる困り感に対して柔軟に対応してください。	今後も、利用児が楽しいと思えるような活動や保護者の心配に寄り添ったアプローチを提供できるようにしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	3		保護者の要望や園、地域の希望を考慮しながら、今後検討していきたいと思います。
支援の継続性	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0	最初の書類内容の説明など丁寧に実施していただけた。	今後もわかりやすい説明に心掛けていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1	0	0	通所開始時の一番最初以外は面談ができていないため、日々の活動報告だけでは支援計画に沿っているのか十分に理解できていない。	職員間での内容の理解に努め、より計画に沿った支援を提供できるようにします。また、計画の意図や活動の必要性を感じることができます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	0	3	保護者同伴での活動が定期的に開催されている。	今後も、このような機会の周知や、企画を考えていきたいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	3	活動中にも子供へ普段の生活について質問をおこない、それを保護者と共有する時間を設けて色々と相談にのってくれて助かります。	今後も、保護者の方と連携をおこない共通理解をもって支援できるようにしていきます。

保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	4	0	1	通所の頻度が低く、期間もまだ短いため、まだ実施できていない。	個別支援計画の更新時に面談を実施しております。また、要望に応じて別途面談も設けておりますので、気軽にお伝えください。また、支援見学も随時可能です。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0	肯定的な声掛けを多くいただいている。本人を否定せず、話を聞きだしてくれ本当に適切な支援をしていただいている。	ありがとうございます。今後も、利用児が自信をもつことができるような声掛け、伝え方を心掛け支援をおこなっていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	4	1	保護者同伴での活動が定期的に開催されている。	今後も、要望を考慮して検討していきたいと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	3	今の所そのような申し入れなどはないためわからない。	要望に応じて別途面談など設けておりませんので、気軽にお伝えください。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	1	活動の最後に保護者への情報伝達の時間が必ず設けられている。	今後も利用児、ご家庭に寄り添った支援を心掛けていきたいと思います。また、様々な情報、助言を提供できるよう努力していきます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	1	5		ブログやInstagram、LINEを利用し、日々の様子など情報発信をおこなっています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	1		会社貸与のPCを使用し、書類なども退勤時にすべて鍵付きの書庫に保管しています。また、利用児の作成した制作も名前がわからないないように掲示させていただいている。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	3	実際に訓練に参加したことはまだないが、実施していると聞いている。	各種マニュアルを作成、玄間に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	5	実際に訓練に参加したことはまだないが、実施していると聞いている。	各種マニュアルを作成、玄間に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。また、月1回防災訓練を実施しております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	4		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	3	そういったケースが発生したことがないためわからない。	年度当初に記入いただいた基本情報シート（緊急連絡先）をもとにに対応させていただきます。また、日頃よりヒヤリハットなどを通じて未然防止に努めています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		ありがとうございます。今後も、皆様が安心して来所できるよう環境づくり、対応を心掛けていきたいと思います。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	3	0	0	毎回楽しみにしています。	ありがとうございます。「たのしい！」「また来たい！」と思っていただけるような活動内容を提供できるよう職員一同考えていきたいと思います。
	29 事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0	毎週、嫌がることなく嬉しそうに自分から率先していこうとしています。毎週「今日は何やるかなあ？」と楽しみに通っています。	ありがとうございます。今後も、利用児や保護者、ひとり一人に寄り添った支援やよりよい校舎運営をおこなうことができるよう努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校				公表日	2025年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切な広さを確保できるよう、活動内容によって使用する療育室を都度、職員間で話合っています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援管理責任者1名、指導員4名、保育士2名が現在在籍。やむを得ない場合を除き、基準以上の職員を配置できるよう努めています。	基準は満たしているが、業務上の関係で調整が必要なこともあった為、余裕のもてる配置を考えていきたい。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		流しに踏み台、トイレに補助便座、踏み台を設置し利用児が無理なく活動できるようにしています。また、階段には手すりが設置しています。本年度、各療育室にフロアマットを設置し、安全に活動できるようにしました。	利用児が準備から片付けまでを実施する習慣がつくよう、療育室、教材室の構造化を今後も職員で話し合い進めていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃と消毒を実施しています。利用児や活動内容に合わせ、机の配置など環境設定を変更して取り組むよう努めています。	毎日の清掃を徹底し、より細かい部分まで清掃が行き届くようにしていきたい。また、こまめに消毒をおこない衛生管理に努めています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用児の様子を配慮し、職員間で使用する療育室を決定しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		管理者と職員で定期的な面談を実施し、目標などを共有しています。また、気になることがあれば全員で共有し、改善に努めています。	繋がりのある療育支援、利用児ひとりひとりにあわせた細やかな目標設定ができるよう、今後も努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価結果を共有し、検討した上で改善しています。また、申し送りなど日々いただいた意見を参考にしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に管理者と職員で面談をおこない、話をする機会を設けています。意見は全員で検討し、日々の業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、実施はしていませんが、今後実施する場合は周知をおこないます。	第三者評価の必要性を感じることもあるが、会社全体の意見や判断を仰いでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		会社全体で内部研修や法定研修を実施しています。	外部研修の情報を、職員間で共有し希望者が参加できるよう業務内容を調節していくたい。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		定期的なモニタリング、個別支援計画をもとに指導員が支援プログラムを作成している。また、申し送り時に内容説明を実施しています。	今後も職員間で情報を共有しあい、安定した質の療育を提供できるよう努めています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		職員間でのモニタリング会議や保護者との面談を通して、意向や発達段階を把握し必要な課題、ニーズを抽出した上で個別支援計画に反映しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成、更新の際には児童発達支援管理責任者だけではなく、指導員の意見も取り入れ課題設定をおこなっています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で支援プログラムを相談しあい、確認をおこないながら支援を提供しています。また、意見交換も積極的におこなっています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内で使用しているアセスメントシートの他に、発達支援評価ツールを使用し利用児の成長を把握しています。	職員間でのツールの共有、活用を今後も実施する必要性を感じています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員間で課題の優先順位などを話しあい、利用児の将来を見据えた課題や利用児の現状にあった目標の設定及び共有をおこなっています。	目標、課題への共通理解を深め、安定した療育ができるよう今後も努めています。	

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	指導員1人ひとりの強みを大切にしながらも、利用児の課題を踏まえたプログラムの作成、実施をおこなっています。また、利用児の様子を考慮しながら担当を定めず複数の職員で関わりをもつようしています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	利用児が「楽しい！またやりたい！」と思えるような活動提供を心掛け、都度、保護者や利用児の意見を取り入れています。	継続すべき課題などを把握し、つながりのある活動をおこなっていくことができるようになります。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	利用児のニーズに合わせて一緒に活動する機会を設けています。また、イベントとして適宜小集団活動を取り入れています。	利用児に応じて今後、積極的に小集団の機会を設けていきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	職員間で支援内容の引継ぎや、社内ツールを使用した情報伝達などを個々で実施しています。また、発言しやすい環境に努めています。	毎日の申し送りや職員会議の定期実施など、情報伝達に漏れがないような工夫をおこなう必要があります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	職員全体での打ち合わせができない分、個々での情報共有を確実に実施しています。	毎日の申し送りや職員会議の定期実施など、情報伝達に漏れがないような工夫をおこなう必要があります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	社内ツールを使用し、支援終了後に記録を作成、保存を実施しています。また、特筆すべき点は別途情報共有しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	少なくとも半年に1回は職員や保護者の意見を踏まえながら、個別支援計画の見直し、更新を実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者が参加しています。また、事前に利用児について話し合い、様子を詳しく説明できるようにしています。	指導員も積極的に参加することができるようになります。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	ケース会議や保育園訪問、学校見学など保護者のご要望に応じて参加しています。	保護者への周知をおこない、必要性のある児に対して積極的に提案していく必要があると感じています。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	相談支援事業所と連携し、事業所の併用などについて保護者にお話や助言をおこなっています。また、それに伴う会議にも参加しています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者の要望に応じて、関係機関への情報交換、共有を実施しています。	
	(28~30は、センターのみ回答)			
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
関係機関や保護者との連携	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	(31は、事業所のみ回答)			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	発達支援研究所より定期的に実施される研修や事例検討会に参加し、助言をうけています。	地域の関係機関との連携や社会資源への知識を深めていく必要があると感じています。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	保護者の意向を考慮した上で、地域との連携を図っています。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明を実施し、玄関にて掲示、閲覧できるようにしています。また、個別に質問があつた際には都度、お伝えしています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		作成、更新の際には個別面談を実施し、意見交換や支援をおこなった上で課題などを共有しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		面談を実施し、課題やニーズの共通理解を得てから、今後の支援について説明し同意を得ています。	より丁寧な説明が必要だと感じています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		半年に1回の面談の他に要望に応じて面談の時間を設けています。また、申し送り時に助言などを実施し、回答が難しい場合は一度職員間で話し合いを実施しています。	保護者の様子をみて、こちらからの声掛け、提案をおこなっていきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		ファミリーカフェなど保護者向けのイベント、交流を企画していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		来所時、電話、LINEなど相談や連絡方法を複数用意し、迅速に対応できるようにしています。また、必要に応じて個別面談の機会を設けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		個人情報に配慮しながら、ブログやInstagramを通じて活動を定期的に発信しています。また、LINEを活用し細やかな伝達ができるよう努めています。	更新頻度を高め、活動の様子をより知りたいだけるよう内容の充実を図っていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		会社貸与のPCを使用し、書類なども退勤時にすべて鍵付きの書庫に保管しています。また、利用児の作成した制作も名前がわからないように掲示させていただいている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		本児の特性や発達に合わせ、視覚的な補足を入れるなど伝え方を配慮しています。	利用児にとってわかりやすい活動表やツールを充実させていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	現在実施しておりません。今後、実施の予定が決まり次第、周知します。また、保護者の意向などを取り入れ、検討していきます。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、定期的に会社全体で研修を実施しています。	訓練内容の充実を図り、職員が迅速対応することができるようしていく必要があると感じています。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、毎月1回防災訓練及び定期的に会社全体で研修を実施しています。	訓練内容の充実を図り、職員が迅速に対応することができるようしていく必要があると感じています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		年度当初、基本情報シートに記入いただき把握するとともに、変更など報告があった際には、情報の共有や基本情報シートの更新を実施しています。	てんかんの対応方法など職員間で共有しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		基本的に、飲食の提供は実施していないため、医師の指示書などはいたいでおりませんが、イベントなど必要な場合は確認をとり把握しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、定期的に会社全体で研修を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		契約時に説明をおこない、実施した場合は保護者に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットを作成した際には、必ず防止策や改善策を指導員間で話し合っています。	校舎の環境など安全について考え、共有していく必要があると感じています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		定期的な研修の他に、チェックシートを毎月実施し防止に努めています。	虐待、身体拘束についての考え方を共通認識し、今後も適切な対応に努めています。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		社内で決定した内容を契約時に説明し、同意を得てから実施しています。	虐待、身体拘束についての考え方を共通認識し、今後も適切な対応に努めています。
----	--	-----------------------	--	-----------------------------------	--